

## 緊急被ばく者の初期対応についての看護手順

放射線汚染の可能性がある住民・作業員が運ばれてきた場合の初期対処方法と、医療者自身の防護について関連サイトを参考にして看護師が対応できる手順として作成しました。

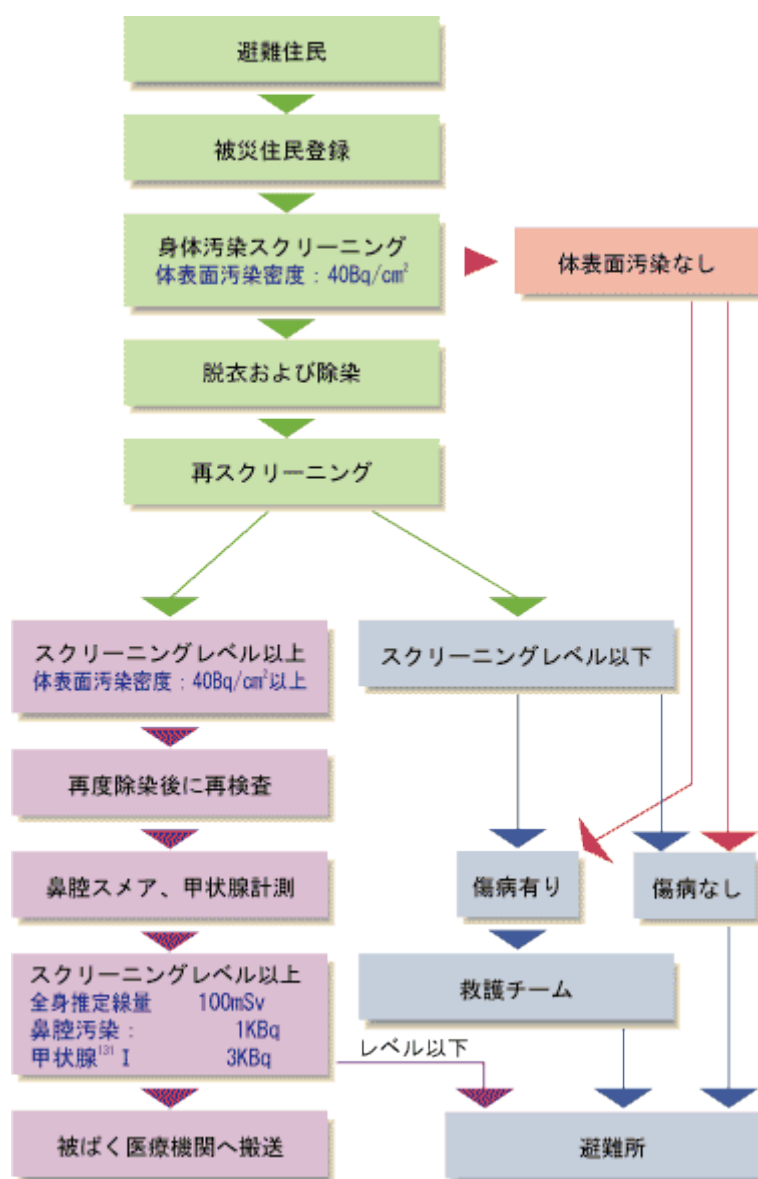
### ●避難所などの緊急被ばく医療の目的とフローチャート

- ①避難してきた人たちの放射能汚染のレベルを測定し、同時に汚染のレベルの説明を行う。
- ②スクリーニングレベル以上の汚染がある住民に関し、脱衣や拭き取り等の簡易除染、内部被ばくのおそれがある人は、鼻腔スミア等の検査をする。汚染の拡散防止と体内に入ることを防止する。創傷がある場合は特に速やかに除染する。
- ③安定ヨウ素剤の服用指示があった場合は、服用対象者に安定ヨウ素剤を分配する。

[http://www.remnet.jp/lecture/b03\\_03/b03\\_03.pdf](http://www.remnet.jp/lecture/b03_03/b03_03.pdf)

- ④不安に対するケアを行ないながら実施する。

[http://www.remnet.jp/lecture/b08\\_01/1\\_2\\_1.html#2](http://www.remnet.jp/lecture/b08_01/1_2_1.html#2)



急性被ばく医療の知識—避難所等における初期被ばく医療活動

図 避難所等における初期被ばく医療のフローチャート [http://www.remnet.jp/lecture/b03\\_01/index.html](http://www.remnet.jp/lecture/b03_01/index.html)

● 避難所などでの除染 [http://www.remnet.jp/lecture/b03\\_01/02-03.html](http://www.remnet.jp/lecture/b03_01/02-03.html)

【除染の心得】

1. 被災者の身体表面に汚染が確認された場合の措置として、放射線物質をできるだけ早く除去（除染）し、汚染が他の部位に広がらないようにするとともに、体内に入らないようにする。
2. 脱衣類や除染に使用した物品はビニール袋等に密閉し、放射線廃棄物として処理する。  
※洗浄液は流さずに、ポリバケツ等の中に貯めておく。
3. 除染チームスタッフは自身の汚染防止に留意し、素手で被災者に触れない。

<p>1. 環境準備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚染拡大防止のため外部と出入りのない場所を設定し、窓・ドアなどは閉めておく。脱衣所ではビニールを敷いておく。</li> <li>・ビニール袋と、ポリバケツを準備しておく。</li> <li>・被災者の着替え用衣服を用意しておく。</li> </ul> <p>※サーベイメータ <a href="http://www.remnet.jp/lecture/b03_01/04-03-01.html">http://www.remnet.jp/lecture/b03_01/04-03-01.html</a></p>
<p>2. 医療者の準備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャップ、撥水用ガウン、マスク、綿手袋、ゴム手袋、長ぐつを着用する。</li> <li>・ポケットに個人線量計を装着しておく。</li> <li>・除染中は、随時サーベイメータで医療者の衣服を測定し高値であれば随時、ガウンを交換する。</li> </ul>
<p>3. 除染の流れ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創傷部位に汚染が確認された被災者を優先的に医療処置班で除染する。医師の指示に基づき、創傷は生理食塩水で洗浄し、熱傷は冷水に浸したガーゼを重ねて、患部に繰り返し当て除染する。</li> <li>・それ以外の被災者は衣服が汚染していたら脱がせる。</li> </ul> <p>脱衣後は、次の順で汚染を確認しながら除染していく。手⇒毛髪⇒頭皮⇒顔面⇒皮膚の順に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除染する場合、被災者に皮膚等を傷つけないよう注意を促しながら、被災者自身での除染を指導する。</li> <li>・除染後はサーベイメータで検査し、除染の結果を記録し、一度除染しても放射性物質が除去されなかった場合は、再度（2回まで）除染を繰り返し行う。</li> </ul>

<p>4. 汚染部位による具体的除染方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脱衣の管理：脱衣した衣服は、必ずビニール袋に入れて氏名・日時を明記したラベルを貼り、保管する。</li> <li>・手：中性洗剤で洗い流すまたは洗剤をつけた布で傷付けないように拭きとる。</li> <li>・頭髪・頭皮：湿った布等で毛先に向かって拭きとる。頭皮は湿ったガーゼやウエットティッシュなどで拭きとる。</li> <li>・顔面：目は生理食塩水（または水道水）を用いて、除染側を下にして受水器を当てながら洗い流す。鼻は本人に鼻をかませてから、湿った綿棒で軽く拭き取る。口は口角を綿棒で拭き取り、洗ってから、うがいをする。耳は表面をよく拭き取ってから、湿った綿棒で耳の穴を拭き取る。</li> <li>・皮膚：手と同様</li> </ul> <p>※この場合、目、鼻、口、耳に汚染水が入らないように細心の注意を払う。</p>
<p>5. 除染後の措置</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・除染が終了したら、再度被災者の汚染検査を行う。</li> <li>・医療スタッフの汚染検査を行う。</li> <li>・使用したビニールシートなどを回収し、床の汚染検査を行う。</li> <li>・管理者は個人線量計を回収する。</li> <li>・除染に使用した洗浄液はポリバケツにガーゼ、ガウン、手袋、衣服などはビニール袋に入れて一時的に保管する。最終的には汚染廃棄物として処理される。</li> <li>・除染の記録 参照 <a href="http://www.remnet.jp/lecture/b03_01/a03.html">http://www.remnet.jp/lecture/b03_01/a03.html</a></li> </ul>

●ヨウ素服用対象者の対応

[http://www.remnet.jp/lecture/b03\\_01/03-01.html](http://www.remnet.jp/lecture/b03_01/03-01.html)

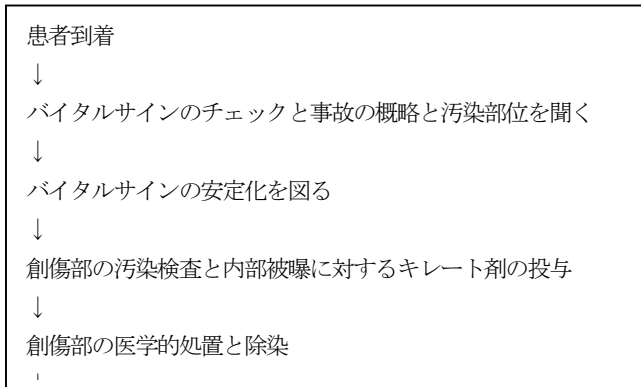
[http://www.remnet.jp/lecture/b03\\_01/04-01-01.html](http://www.remnet.jp/lecture/b03_01/04-01-01.html)

- ① 服用対象者の確認：問診表などを用いて服用対象者の把握を行う。
- ② 安定ヨウ素剤の丸薬の配布：年齢に応じて丸薬を配布し、確実かつ安全に服用させる。
- ③ 安定ヨウ素剤内服液の配布：年齢に応じて安定ヨウ素剤内服液をスポイトまたは自動分配器(デスペンサー)を用いてカップ(使い捨て)へ分配し、確実かつ安全に服用させる。乳幼児ではスポイト(使い捨て)で直接服用させてもよい。

●医療機関への搬送 [http://www.remnet.jp/lecture/b03\\_01/02-06.html](http://www.remnet.jp/lecture/b03_01/02-06.html)

- ① 搬送要員は、ガウン・手袋などを着用し直接患者に触れないようにする。
- ② 搬送に用いるストレッチャーやいすにはあらかじめシートを貼っておく。
- ③ 被災者には被災住民登録票の他、スクリーニング測定記録票、除染結果記録票等を持参させ、二次被災者医療機関で処置を受けさせる。

- 外来処置室での除染・医療処置手順 [http://www.remnet.jp/lecture/b02\\_02/1-5.html#flow](http://www.remnet.jp/lecture/b02_02/1-5.html#flow)



(参考サイト)

- 緊急被ばく医療ホームページ <http://www.remnet.jp/>
- 日本放射線医学会 緊急被ばくの事態への放射線科医の対応について <http://www.radiology.jp/modules/news/article.php?storyid=907>
- 広大緊急被ばく医療推進センターホームページ <http://wjrempan.rerf.jp/index.html>
- 放射線腫瘍学会 <http://www.jastro.or.jp/>
- 日本放射線技術学会 放射線防護分科会ホームページ <http://www.jsrtrps.umin.jp/>